



令和6年度 海南nobinos・下津図書館 おすすめブックリスト

タイトル	著者名	出版社名	刊行年	おすすめコメント
幼児				
にんきものいちねんせい	つちだ のぶこ//絵	小学館	2021.4	みんなそれぞれにいいところがあって人気者。 みんなのことも、自分のことも好きになれる絵本です。
ぴーったり！ソファのまき (シリーズあります)	フィフィ クオ//作 おおとも たけし// 訳	ほるぷ出版	2022.7	ソファが古くなったので、新しいものを買に出たペンギンとパンダ。いろいろなソファをお試しする様子がかわいらしいです。 さて、最後に選んだものは…？
それなら いいいえありますよ	澤野 秋文//作	講談社	2013.8	散らかし放題のぎんたの家に、ノラネコのちゃまるがやってきました。実はちゃまるは家探しをしてくれるバケネコで、ずる賢いぎんたはきれいで片付いた家を見つけてもらおうとしますが…。
あつまれ!わくわくパンまつり	のし さやか作・絵	ひさかたチャイルド	2022.6	パンのまちでは、もうすぐ年に一度のパンまつり。大好きなパレードに向けて、いろいろな種類のパンが準備中です。きょうだいたちとパレードに出る食パンくんは、みんなが驚くことをしようとして…。ゆかいな食べ物絵本です。
せかいねこのひ	井上 奈奈//絵・文	新日本出版社	2019.12	世界中の人が「ニャー」という鳴き声しか話せなくなった日は、不便なようで自由な幸せな一日になりました。レモンイエローが基調になっている、絵だけでも楽しめる綺麗な絵本です。



タイトル	著者名	出版社名	刊行年	おすすめコメント
小学生低学年				
せんそうがやってきた日	ニコラ デイビス// 作 レベッカ コップ //絵 長友 恵子//訳	鈴木出版	2020.6	戦争ですべてを失い、どこにも行き場のない、そして教育を受ける機会のない難民の子どもたち。そんな子どもたちに、あるものが差し出されます。とても力強いメッセージを持った絵本です。あとがき、最後のページまでぜひ読んでみてくださいね。
げんきだしていこう！のおまじない	西平 あかね//文・ 絵	大日本図書	2023.3	猫があーちゃんに教えてくれた おまじないは、唱えると晴れ晴れしい気分！元気がない時、元気を出したい時、この本のことを思い出してください。効果は抜群！
ぼくのいぬはどうしてこんなにかわいいのか	しゅん//作 えがしら みちこ//絵	KADOKAWA	2023.7	「ぼくのいぬ」があんまりにもかわいくて、自由研究のテーマに選んだしゅんくん。じっくり観察することで「かわいい」と思う、それ以上の気持ちを手に入れます。実話をもとにした絵本です。
おさるのゆめ (シリーズあります)	いとう ひろし// 作・絵	講談社	2021.9	おさるが島で毎日どんなことをしながら過ごしているのか。毎日何を考えているのか。何気ない日々がいとおしく感じられるほどのするお話です。シリーズでいろいろなお話を読んでみてください。
どろんここぶた	アーノルド・ローベル//作 岸田 衿子 //訳	文化出版局	1971.11	こぶたは、やわらかいどろんこのなかに座ったまま沈んでいくのが何よりも好きでしたが、ある日おばさんが、大好きなどろんこをお掃除してしまいました。怒ったこぶたは、どろんこを探しに家を逃げ出して……。自分の「好き」をわかってくれる人達がいることの大切さを感じさせてくれるお話です。



タイトル	著者名	出版社名	刊行年	おすすめコメント
小学生中学年				
Life (ライフ)	くすのき しげのり //作 松本 春野// 絵	瑞雲舎	2015.3	町のはずれにある物々交換のお店「Life (ライフ)」に、ある日おばあさんがやってきて…。物や思い出を大切にしつつ新たな一歩を踏み出す、そんな感動の物語です。
どんなイチゴも、みんなかわいい	葦原 かも//作 中 田 いくみ//絵	童心社	2023.6	運動おんちで目立つのが苦手。みんなと同じようにふるまえません。でも、アヤには想像力があって…。毎日の生活のなかでの少しの勇気と小さな冒険で、「わたし」のよさに気付けるお話です。
サッカク探偵団 あやかし月夜の宝石どろぼう (シリーズあります)	藤江 じゅん//作 ヨ シタケ シンスケ// 絵	KADOKAWA	2015.7	パーティで大小2つのダイヤが消える事件が発生。小学4年のカケルとクラスのなかまたちは、近所に住む研究者の二の谷と事件の謎を追いかけます! サッカクでトリックを推理するサッカク探偵団の物語です。
おもしろ大発見! 世界スゴすぎ 事典	須藤 健一//監修	池田書店	2020.10	日本の当たり前は外国では当たり前ではないかもしれません。トイレの流し忘れの罰金が40万円の国や、夏休みが3カ月の国があります。世界の当たり前を知ってみましょう。
そうだすぎて気がとおくなる 宇宙の図鑑	渡部 潤一//監修	西東社	2020.1	138億年前に生まれた宇宙について、イラストで分かりやすく、ユーモアたっぷりに説明してくれています。私達の暮らす地球の誕生が、いかに奇跡なのか?宇宙の終りはどうなるのか?はるかに広がる宇宙の不思議について子どもはもちろん、大人も楽しみながら学ぶことができます。



タイトル	著者名	出版社名	刊行年	おすすめコメント
小学生高学年				
カタリン・カリコ mRNAワクチンを生んだ科学者	増田 ユリヤ//著	ポプラ社	2023.8	2023年ノーベル生理学・医学賞の受賞者カタリン・カリコ。多くの人々を救った新型コロナワクチンは、困難な研究から生まれたということをぜひ皆さんに知っていただきたいです。
尊敬する人はいません〈今のところ〉	中山 聖子//作 合田里美//絵	文研出版	2023.9	父親のことを好きなのか嫌いなのかもわからない若羽と、「尊敬する人は父」と発表した慧、二人の視点から交互につづられる物語。親との関係、自分の在り方にひかかりを覚えるそんな時にぜひ読んでほしい一冊です。
人魚姫の町	柏葉 幸子//著 さいとう ゆきこ//絵	講談社	2023.10	東日本大震災後に故郷を離れた少年が、九年後目をそらしていた思い出に向き合い、不思議な存在に触れて素直に生きられるようになるお話です。悲しみを受け入れて、人のことも自分のことも励ます姿にじんときます。
言葉屋 言箱と言珠のひみつ (シリーズあります)	久米 絵美里//作 もとやま まさこ//絵	朝日学生新聞社	2014.11	言いたくてもなかなか言えない言葉や、言いたくても言っはいけない言葉、そんな言葉のトラブルの解決を手助けをする「言葉屋」という仕事をおばあちゃんから学ぶことを決意した詠子。言葉を口にする勇気と口にしない勇気、言葉屋の仕事を通して成長していく詠子の姿に、心が温くなる物語です。
チャーリーとフロッグ 手話の町の図書館となぞのメッセージ	カレン ケイン//著 根本 美由紀//訳 亀井 洋子//挿絵	岩崎書店	2021.11	物語の舞台は、手話が身近な町キャッスル・オン・ザ・ハドソン。この町で夏休みを過ごす少年チャーリーは、ある出会いから、ろう者の女の子フロッグと事件を追うことに…。事件はうまく解決するのでしょうか。ぜひイラストの手話を覚えながら、読んでみてください。



タイトル	著者名	出版社名	刊行年	おすすめコメント
中学生・高校生				
見た目レンタルショップ 化けの皮	石川 宏千花//著	小学館	2020.11	狐を使役する一族の末裔である主人公と狐たちが営むレンタルショップを舞台にした、<見た目>をめぐる物語。見た目ばかりを気にしがちだけど、内面も大事だよということを感じさせてくれる本です。
ノクツドウライオウ 靴ノ往来堂	佐藤 まどか//著	あすなろ書房	2023.4	シューズデザイナーを夢見る主人公が、家業の老舗靴店を継ぐべきか悩みます。目指すもの、守りたいものは…。ライバルと切磋琢磨しながら、主人公なりの答えを見つけます。将来何になるのか、悩んでいる人におすすめの本です。
斜陽の国のルスダン	並木 陽//著 トマトスープ//画	星海社 講談社(発売)	2022.11	ヨーロッパの東の果ての国ジョージアの女王とイスラームの王子の国の命運を賭けた一大歴史ロマンスです。
キノの旅シリーズ	時雨沢 (しぐさわ) 恵一//著	KADOKAWA	2000.7	キノと相棒のエルメスはいろんな国を旅します。旅先で入国したそれぞれの国で何を感じるのか。読み手の受け取り方でいい話だったり悲しい話だったり。どう感じるかはあなた次第です。
10代のための生きるヒント みんなとちがっても大丈夫!	笹田 夕美子//著	シャスタイン ターナショナル	2019.12	悩み多き年頃みなさんに読んでいただきたい一冊。いろんな悩みがあるし、いろんな答えがあるものです。気になったときに気になったページを開くだけですぐ読めるのも読みやすいと思います。



タイトル	著者名	出版社名	刊行年	おすすめコメント
一般				
同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬//著	早川書房	2021.11	独ソ戦が激化する1942年、少女セラフィマは復讐のため、訓練学校で一流の狙撃手になることを決意する。厳しい戦火の下での、主人公の成長と覚悟に心が揺さぶられます。彼女が「撃つ」敵とは？ 実在した女性兵士のその後の人生と合わせて考えさせられる小説です。
勿忘草（わすれなぐさ）をさがして	真紀 涼介//著	東京創元社	2023.3	親子の絆をたくさんの謎とからめた、謎解きのように面白い小説です。
山亭ミアキス	古内 一絵//著	KADOKAWA	2021.11	大切な存在を亡くした猫たちが、山亭で人を化かして力を集めているお話の短編集です。おびき寄せられる人は皆悩みを持っていて、生き方を変えるきっかけを得ます。少し怖いところもありますが、児童書のような雰囲気を読みやすいです。
ツバキ文具店 (シリーズあります)	小川 糸//著	幻冬舎	2016.4	鎌倉にある文具店のお話。ただこの文具店には、もう一つ「代書屋」という顔があります。伝えたい思いを自分以外の人に託す人たちの事情に様々な人間味を感じられます。
ユーモアは最強の武器である	ジェニファー アーカー//著 ナオミ バグドナス//著 神崎朗子//訳	東洋経済新報社	2022.9	本書は大真面目にユーモアを説いた本です。ユーモアによって困難な局面を乗り越える方法、生産性を向上させる方法など、仕事でも人生でも役立つ方法が載っています。ぜひご参考に！